

令和7年度 自己評価結果(ドットステイ都賀Ⅰ(医療多機能型生活介護))

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。
この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査: R8/2/1~R8/3/1>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び統計: R8/2/1~R8/3/10>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	<p>・医療ケア用もスムーズに回数が増やせるよう、看護師さんやスタッフの人数など充実させてほしいと思います。</p>	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。職員を含め、お子様が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。</p>
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	<p>・HUGで写真を送ってくれるのでありがとうございます。</p>	<p>・今後も事業所での楽しんでいる姿を、保護者の皆様へお届けできるよう努めてまいります。</p>
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	<p>・自宅ではやりきれない難しいことも、たくさん体験させてもらううちに成長や気づきがあると思います。 なにより子供自身が充実しているのが見てわかるので、今後も楽しませてあげたいと思います。</p> <p>・成長とともに公園へ遊びに行ったり、一緒に買い物へ行ったりしなくなってきたので、公園で遊んだり、絵カードを使い買い物したりして買い物、子供も楽しく過ごしているようで、有り難いです。</p>	<p>・お子様が少しでも多くのことができるように今後も支援してまいります。ドットステイならではの活動をより増やし、お子様へ多くの経験を与えられるように努めてまいります。</p>
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		
関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<p>・家族や兄弟も参加できるようなお出かけイベントなどもあると嬉しいです。</p> <p>・日数を増やしたいが、こどもの体力を考えると増やせない</p>	<p>・貴重なご意見ありがとうございます。保護者の皆さまからいただいたご意見を反映しながら、お子様が安心して通所できる環境整備やプログラムの作成に努めてまいります。</p> <p>・些細な悩みでも相談していただけるような環境づくりに取り組んでまいります。</p>
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明(支援の内容、利用者負担額等)	<p>・帰りの送迎時に一日の活動の説明があり、職員の方にはとても信頼しています。</p>	<p>・引き続き、説明責任を果たし、小さな変化にも気づき保護者の皆様へ共有できるよう努めてまいります。</p>
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<p>・避難訓練を行っているのか不明です。</p>	<p>・年2回の避難訓練を実施しております。</p> <p>・また、BCPを作成し、非常時に適切に対応できるように努めております。</p>
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	<p>・看護師さんや職員の方が体調面にも配慮しながら関わってくださるので、安心して通わせることができます。</p> <p>・体を動かす内容のプログラムがもともとよい。</p> <p>・職員が変わることで本人が緊張して発作が増えてしまいます。少しずつかまいませんが、本人に寄り添って安心信頼のできる場所をつくって欲しいです。</p>	<p>・今後もドットステイ都賀でこそ経験できるものを増やしていき、皆様の満足度をより上げていけるように取り組んでいきます。</p> <p>・また、卒業後の進路先として第一に考えていただけるような施設づくりに全職員で動んでいきます。</p>
	子どもが通所を楽しみにしているか		
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		

令和7年度 事業所における自己評価総括表(ドットステイ都賀 I (医療多機能型生活介護)(放課後等デイサービス・児童発達支援))
 子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点(事業所の強み)や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期: R8/2/1~R8/3/1> <職員アンケート調査及び検討時期: R8/2/1~R8/3/10>

強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> 生活介護を併設しているため、成人の利用者との交流の機会も持て、学校や家庭では経験しにくい異年齢交流を通して、社会性を幅広く体験できる環境となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時折、生活介護利用者とともにプログラムを行ったりすることで、他所では経験しづらい交流を持たせることができます。 特に高校生は将来の生活介護へ移行する際のステップとしても成人の利用者と接する機会を持つことの意味があると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> より有意義な交流を行うために、お子様と成人の方との特性や相性を細かく把握し、求められる関わり方を意識することを心がけていきます。
<ul style="list-style-type: none"> お子様の発達段階や特性を把握し、配慮した支援ができています。 活動の目的やねらいを意識したプログラムを作成している。 学校等との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・お子様の下校時刻の確認等)が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様の特性を把握し、毎月さまざまなねらいを持たせたプログラムを実施できるよう工夫しています。 必要に応じて学校だよりをお預かりし、行事予定や都度の下校時刻の把握が行えるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてリクエストプログラムを実施します。 保護者の意向を確認の上、学校等へ訪問し、連携を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> 支援内容について、保護者と定期的に情報共有を行っている。 保護者の意見や要望を受け止め、個別支援計画や実際の支援に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とは、送迎時・電話・HUGにて日次で気軽に相談し、いただけるよう各媒体を整備し、相談が円滑に行われるよう工夫しています。 モニタリング時のみならず、電話連絡をはじめとした日々の連絡体制においても、意見や要望を受け止め、支援に反映できるよう努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、拠点で使用している対応フローチャート、ガイドライン、マニュアルの内容を保護者へも周知し、安心感向上につなげます。

弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> 欠勤時や利用人数が増加した際に、支援人数が不足していると感じている職員がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠勤職員が出た際などに調整や現状の職員でそのままサービスを行っているが、余剰職員がいるとより安心してサービスを行うことができる状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員・児童が安心して取り組める人員の調整並びに知識・スキル向上で対応できる幅を広げていく努力もしていきます。
<ul style="list-style-type: none"> お子様の活動内容や発達段階に応じたスペース(発達支援室・個別の部屋や場所)が確保されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム、自由時間の過ごす場所のスペース確保が十分に確立できておらず、筋緊張や発作時に他児童へ接触してしまう危険性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用物品の整理整頓を徹底し、活用できるスペースの最大化を図ります。

令和7年度 自己評価結果(ドットステイ蘇我(医療多機能型生活介護))

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。
この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています

	評価項目	利用者保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査: R8/2/1~R8/3/1>	事業所の取り組み状況、改善の方針等 <職員アンケート及び統計: R8/2/1~R8/3/10>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	・医療ケア用もスムーズに回数が増やせるよう、看護師さんやスタッフの人数など充実させてほしいと思います。	・貴重なご意見ありがとうございます。職員を含め、お子様が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
	障害特性への配慮		
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	・HUGで写真を送ってくれるのでありがたいです。	・今後も事業所での楽しんでいる姿を、保護者の皆様へお届けできるよう努めてまいります。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	・自宅ではやりきれない難しいことも、たくさん体験させてもらおうと共 に成長や気づきがあると思います。 なにより子供自身が充実しているのが見てわかるので、今後も楽し く通えたらと思います ・成長とともに公園へ遊びに行ったり、一緒に買い物へ行ったりしな くなったので、公園で遊んだり、絵カードを使い買物したりして買 い、子供も楽しく過ごしているようで、有り難いです。	・お子様が少しでも多くできるように今後も支援してまいりま す。ドットステイならではの活動をより増やし、お子様へ多くの経験を 与えられるように努めてまいります。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		
関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	・家族や兄弟も参加できるようなお出かけイベントなどがあると嬉し いです ・日数を増やしたいが、こどもの体力を考えると増やせない	・貴重なご意見ありがとうございます。保護者の皆さまからいただ いたご意見を反映しながら、お子様が安心して通所できる環境整備や プログラムの作成に努めてまいります。 ・些細な悩みでも相談していただけるような環境づくりに取り組んで まいります。
	学校や保育園等との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明(支援の内容、利用者負担額等)	・帰りの送迎時に一日の活動の説明あり、職員の方にはとても信 頼しています。	・引き続き、説明責任を果たし、小さな変化にも気づき保護者の皆 様へ共有できるよう努めてまいります。
	苦情トラブル対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の提供		
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルの策定	・避難訓練を行っているのか不明です。	・年2回の避難訓練を実施しております。 ・また、BCPを作成し、非常時に適切に対応できるように努めており ます。
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	BCPと安全計画の策定と研修等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが安心感を持って通所しているか	・看護師さんや職員の方が体調面にも配慮しながら関わってくださ るので、安心して通わせることができます。 ・体を動かす内容のプログラムがもつとあるとよい。 ・職員が変わることで本人が緊張して発作が増えてしまいます。少し ずつでかまいませんが、本人に寄り添って安心信頼のできる場所を つづけて欲しいです。	・今後もドットステイ蘇我でこそ経験できるものを増やしていき、皆様の 満足度をより上げていけるように取り組んでいます。 ・また、卒業後の進路先として第一に考えていただけるような施設づく りに全職員で励んでいます。
	子どもが通所を楽しみにしているか		
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		

令和7年度 事業所における自己評価総括表(ドットステイ蘇我(医療多機能型生活介護)(放課後等デイサービス・児童発達支援))
 子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点(事業所の強み)や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期:R8/2/1~R8/3/1> <職員アンケート調査及び検討時期:R8/2/1~R8/3/10>

強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの特性を把握し、配慮した支援ができており、評価していただいています。 ・保護者様の意見や要望を受け止め、実際の支援にも反映しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回、看護師・支援員・管理者を含め、拠点内でミーティングを開催しています。多方向からの専門的視点を拠点内で共有し、サービスの改善、支援の充実に努めています。 ・計画書や保護者様の意向、お子様一人ひとりの特性、日々の様子等を拠点内で共有し、それぞれに合った支援となるよう取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員を含め、支援における水準を維持しつつ、さらなる質の向上に努めています。 ・今後も拠点内のミーティングだけでなく、お子様、保護者様、相談員様と連携を重ねつつ、内容をすり合わせながら支援していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が楽しみながら通所していただけるよう、バリエーション豊かなレクリエーションや行事を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や時期の変化を感じることができるよう、季節に応じた行事・レクリエーションを企画しています。 ・拠点内のイベントに加えて、外出イベントも実施しています。 ・保護者様にも、お子様が楽しんで通所している様子を見ていただきたく、写真やHUGを通じて共有させて頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、楽しむことに加えて、成長や成功体験の一助となるようなレクリエーションを企画してまいります。 ・レクリエーションや行事など、ご希望の内容がございましたら、ぜひお教えください。
<ul style="list-style-type: none"> ・日々のサービス提供内容について、密な連絡調整をすることで、事業所内の透明性の確保に努めています。 ・保護者様と風通しの良い信頼関係を築くべく、定期的かつ細やかな報告・連絡をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、送迎時の申し送り、LINEや電話を通して、日頃から円滑に連絡調整ができるよう努めています。 ・利用の様子やお子様の成長など、相談員様、保護者様と共有しつつ、意見を反映しながら支援できるよう努めています。 ・レクリエーションや季節のイベントをした際には、HUGや写真を通じて、お子様の様子を共有させて頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、拠点で使用している対応フローチャート、ガイドライン、マニュアルの内容を保護者へも周知し、安心感向上につなげます。

弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の緊急時の対応が周知できていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、感染症対策、BCPなど、事業所の体制を共有できていません。 ・災害時、緊急時の対応について情報発信の機会がありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や、感染症対策の研修・訓練など、開催時は保護者様にも内容を共有いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様が拠点の様子を見学できる機会を、設けることができていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や写真にて、お子様の過ごし方をお伝えすることはできていますが、実際に見たいという希望もあるのではないかと思います。 ・駐車場の制限や日程調整の難しさが、現状実施できていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の連絡調整を通じて、見学の希望を募っていきます。 ・保護者様同士のつながりも設けることができるよう、1日2組などで見学を受け付けていきます。